

令和5年度 「志教育」 全体計画

様式1

宮城県佐沼高等学校（定

校 訓
至誠 「献身・窮理・力行」

本校の教育目標
校訓「『献身・窮理・力行』の三徳を『至誠』をもって貫く」の教えを大切にし、21世紀の国際社会を生き抜くことができる英知と健全な心身を持った徳性の高い人物を育成する。

生徒の実態，教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> 不登校経験や生育歴の影響で基礎学力や基本的な生活習慣を身に付けられなかった生徒が多い。 学業と仕事を両立させ、基礎学力と望ましい生活習慣を身につける。

保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力や基本的な生活習慣を確立させて欲しい。 家庭や地域の中で役割を持ち、地域社会に貢献する人材に育てて欲しい。

「志教育」の目標
人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、将来の社会人としての生き方を主体的に求める姿勢を育む。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
人間関係の大切さを理解させ、信頼し合える学級集団づくりや仲間づくりに努めさせる。	将来の職業と学習との関わりを理解させ、学習や体験活動に取り組みさせる。	在学中から地域における就業を積極的に促し、社会の一員としての自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	学習計画の立案や学習成果の自己評価等、主体的な学び方を身に付けさせ、学習と将来の生き方の関係を理解させる。
道徳	地域社会への貢献をとおして勤労の尊さに気付かせ、進んで社会に寄与する姿勢を持たせる。
総合的な探究の時間	外部講師による講話や「生活体験作文」の作成・発表をとおし自分を見つめ直し、自らの進路について考えさせる。
特別活動	ホームルーム活動や生徒会活動等をとおし、集団や社会の一員として自分の生き方について考えを深めさせる。
その他	自分の目標に向かって部活動に取り組ませる。また、地域の行事などに参加を促し、自分が役に立っているという感覚を持たせる。

各学年の取組内容	
1年	高校生活に適応させ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。また学業と仕事の両立ができるような環境づくりに努めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な就業 日常的な個別面談 進路HR 進路講話 進路見学会
2年	学業と仕事を両立させ、基礎学力の定着を図る。また勤労の重要性と喜びが感じられるように促す。 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な就業 日常的な個別面談 進路HR 進路講話 進路見学会
3年	学業と仕事を両立させ、基礎学力の向上を図る。また勤労の重要性と喜びが感じられるように促す。 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な就業 日常的な個別面談 進路HR 進路講話 進路見学会
4年	学業と仕事を両立させてきた経験を活かし、進路希望達成や自立に向けて、社会人としての基礎力をしっかり身に付けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な就業 日常的な個別面談 進路HR 進路講話 進路見学会

家庭との連携
連絡・報告を密にして、学校と家庭の間の協力体制を日常的に保ち、連携を深める。

地域・企業との協働
就業先やETA（雇用主と教師の会）と連携を深め、生徒の勤労意識を向上させる。